

# 生産環境

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
なし	2	3年(選択D)

## 1 学習の到達目標

<b>学習の到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業生産における環境の重要性と環境保全型農業を地域規模で考察できる力を身につける。</li> <li>・ 自然環境の現状を認識できる力と生産現場における環境要因について理解する。</li> <li>・ 日本のエネルギー事情と環境の関わりについて理解する。</li> </ul>
----------------	---

## 2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法		
					①	②	③	④			
前期	4	1 オリエンテーション	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科目の学習内容の説明、授業の進め方、授業の評価方法、受講における注意事項について理解する。</li> <li>・ 環境、環境問題とは何か、そして私たちの生活環境にどのような影響があるのかを理解する。</li> <li>・ 地球規模での自然環境の変化を理解する。</li> <li>・ ニンジンの栽培に向け特性について理解する。</li> </ul>	○				実習への取組姿勢		
		2 私たちの暮らしと環境問題			○			○		授業への取組姿勢とノートの提出	
		(1)環境・環境問題とは	2		○	○		○			
		(2)環境問題と私たちの生活	4								
	(3)地球と自然環境	2	○		○		○	授業への取組姿勢			
	6	○ ニンジンの栽培特性	2							授業への取組姿勢	
	前 期 中 間 考 査								○	定期考査	
	中期	6	○ニンジンの栽培		2	・ ニンジンののは種実習	○		○	○	実習への取組姿勢
			3 環境問題と人間生活				○			○	授業への取組姿勢とノートの提出
		(1)地球温暖化(気候変動)	2		・ 地球温暖化のメカニズムとその影響について理解する。	○			○		
(2)オゾン層の破壊		2		○			○				
(3)大気汚染と酸性雨		2	・ 地球温暖化による様々な問題点について学習し、日本でみられる温暖化の影響について理解する。								
(4)土壌劣化		2									
(5)砂漠化	2										
9	○ニンジンの栽培	2	・ ニンジンの栽培管理(除草、植物体観察)	○	○	○		実習への取組姿勢とレポートの提出			
前 期 期 末 考 査								○	定期考査		
後期	10	(6)森林の減少	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球温暖化のメカニズムとその影響について理解する。</li> <li>・ ニンジンの収穫、調整</li> <li>・ 地球規模で起こっている温暖化の問題について、ビデオを見て考える。</li> <li>・ 日本のエネルギー事情について学習し、課題と今後のあり方について考え、グループにて討議する。</li> <li>・ 世界のエネルギーと日本との関わりについて理解する。</li> <li>・ 新エネルギー開発とその課題(ビデオ学習)について考える。</li> <li>・ 農業を通して環境をどのように考えていくのか。その環境保全の方法、特徴を理解する。</li> <li>・ 環境に配慮した農薬の使用についてグループで討議し考える。</li> <li>・ 日本の農業についてビデオを見て考える。</li> </ul>	○	○		○	授業への取組姿勢		
		(7)生物多様性の減少	2								
		○ニンジンの栽培	4			○		○	実習への取組姿勢		
		4 地球環境	2			○	○		○	授業への取組姿勢とレポートの提出	
	11	5 日本のエネルギー								討議への取組姿勢とレポートの提出	
		(1)日本のエネルギーの現状と課題	4			○	○		○		
	後 期 中 間 考 査								○	定期考査	
	後期	6	(2)世界のエネルギー事情と日本のかかわり		2	・ 世界のエネルギーと日本との関わりについて理解する。	○	○		○	授業への取組姿勢とレポートの提出
			6 エネルギー開発		2	・ 新エネルギー開発とその課題(ビデオ学習)について考える。	○	○		○	
		7 環境の保全と創造				○	○		○	授業への取組姿勢とレポートの提出	
(1)堆肥づくりと有機栽培		4	・ 農業を通して環境をどのように考えていくのか。その環境保全の方法、特徴を理解する。	○	○		○				
(2)化学農薬を減らした作物栽培		2	・ 環境に配慮した農薬の使用についてグループで討議し考える。								
(3)除草剤を使わない作物栽培		2									
8 日本の農業	2	・ 日本の農業についてビデオを見て考える。	○	○		○	授業への取組姿勢				
学 年 末 考 査								○	定期考査		

### 3 評価等について

項目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技能	④知識・理解
内容	環境に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組んでいる。	環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識を基に、環境を学ぶものとしての適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	野菜の栽培を通してその性状と生育環境の関係について理解し、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	環境の各分野における基礎的・基本的な知識を身につけ、環境の意義や役割を理解している。
割合	20 %(点)	10 %(点)	10 %(点)	60 %(点)

### 4 履修にあたっての注意事項

- (1) 毎時間の授業に集中し積極的に取り組むこと。
- (2) グループ討議、ビデオ学習においては、自分の考えをしっかりと述べ、レポートを必ず提出すること。
- (3) 実習に際しては、指定された実習服で臨み、指示されたことをしっかりと守り、事故防止に努めること。
- (4) 提出物は期限を守り提出すること。

※ 以上の点を守れない場合には、未履修になる可能性がある  
るので注意してください。

#### 評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

#### 学年末評定について

評価	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0